

1. 研究活動

◎論文			
茶谷薫 “生活研究と教養：1 (デザインへ No. 32)”	2009. 6	フィールドから 観察の友 109号 p.2009322-2009323、野外活動研究会	美術、デザインの専門家に必要な教養について論じた。
茶谷薫 “橋の架け替え工事：鴨と車はどこへ？ (定点観察 No. 6)”	2009. 6	フィールドから 観察の友 109号 p.980	橋梁の架けかえ工事に伴って五条川周辺の変化を記載した。
茶谷薫 “室外機は語る”	2009. 6. 17	『軒下ミュージアム：わたしと世界のあいだを観察する方法 (フィールド選書：2)』佐藤英治、嶋村博、山田稔編著、pp52-54	都市部におけるヒートアイランド化が進む中、増加するエアコンの室外機が日本の狭い住宅事情の中で、どのように置かれているかを調べた。
茶谷薫 “異物？”	2009. 6. 17	『軒下ミュージアム：わたしと世界のあいだを観察する方法 (フィールド選書：2)』佐藤英治、嶋村博、山田稔編著、pp90-92	歴史的景観を売り物にする地域では異物となるエアコンの室外機が、東区の文化の道や犬山城下でどのように置かれているかを調べた。
嶋村博編著、平田哲生、前田幸三、佐藤英治、武谷直子、茶谷薫、佐宗圭子、岡本信也、岡本靖子、山田稔 “軒下のじてん”	2009. 6. 17	『軒下ミュージアム：わたしと世界のあいだを観察する方法 (フィールド選書：2)』佐藤英治、嶋村博、山田稔編著、pp15-23	軒下にある様々な物品を考現学的に記載した小事典。茶谷は「つらら」「雪」「窓に咲く氷の花」「ミラー」「泥棒よけ」「雪用の道具」を執筆。
茶谷薫 “新型インフルエンザ騒ぎ”	2009. 10	フィールドから 観察の友 110号 p.988	新型インフルエンザ騒ぎでマスク着用率がどのように変化するかを調べた。
茶谷薫 “規格外サイズ”	2009. 10	インパクション 171号 pp.190-191 今月のフェミ的 60	様々な商品がヒトの形態・生理に合わないことを論じた。
茶谷薫 “エコバック調査”	2010. 1	フィールドから 観察の友 110号 p.996	エコバック持参率を店舗毎に比較、考察した。
茶谷薫 “ワオキツネザルの尾の中身”	2010. 3	名古屋芸術大学紀要第31巻 pp285-292	ワオキツネザルの名称ともなった尾の実質部分が細いことを明らかにした。
◎展覧会			
茶谷薫 “名古屋芸大生の「かわいい」もの”	2009. 6. 12 ～6. 17	『名古屋芸術大学教員展』名古屋芸術大学西キャンパスアート&デザインセンター	学生の可愛いと思うものと清少納言のそれを比較し、イラスト化して展示。
茶谷薫 “軒下の異物：室外機 エアコン室外機の置き方、利用法は如何に？”	2009. 9. 15 ～9. 23	「軒下はミュージアム：マチ歩き暮らし発見」展、名古屋市東区、文化のみち榎木館・和室2	エアコン室外機の置き方や、室外機のある町並みなどの様子を示した。
茶谷薫 “それぞれのかわいい”、“室外機のある風景”	2009. 11. 20 ～12. 19	境界なきアート展～響きあうココロへ～、豊川市桜ヶ丘ミュージアム	可愛いと感じる物事の普遍性と時代の変化、室外機の出現で変化した町並みを示した。

2. 教育活動 (教育実践上の主な業績) 大学院授業担当 有 無

授業科目 生物学		教育実習巡回指導：日本大学三島高等学校 (静岡県三島市)、名古屋市立浄水中学校 (名古屋市西区) にて本学学生各一名を指導。何れも合唱を教える授業内容だった。 春休み中、学生の自主勉強会を人間発達学部に加藤暢夫先生とともに始めた。特に、英語、作文、数学 (算数) 能力の向上を目指し、鶴亀算、計算力を上げるゲームなどを行った。 10月24日 (土)：西キャンパスB棟大講義室に於いて「教養講座 (人間)」 (講義担当：中河豊・津田佳紀) で2コマ分、サブカルチャーを楽しむために必要な教養について講義を行った。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
多数の動画・写真を授業中に提示し、動物の感覚について関心を喚起し、理解を深められるようにした。また独自の出席カードを用意した。自由記述欄を広く取り、感想や苦情、質問などを記入できるようにし授業参加を促す工夫である。	※パワーポイント中心の授業進行 ※黒板における補助的説明 ※穴埋め式プリントで学習量増加 ※動画・写真・図版をPCで映写 ※オリジナルの出席カードほか	
授業科目 生態学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
多数の動画・図・写真を提示し、生態系における物質の循環や環境問題、持続的環境利用などを理解させた。「生物学」同様のカードで学生の授業参加している気分を高めさせ、カードを通じて教員との交流が多数人講義でもできるようにした。	上記「生物学」と同様。	
授業科目 人類学		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
霊長類や配偶システムに関連する多種多様な動画を用意し、ヒトの進化、霊長類の分類、配偶システムや成長発達パターン、長寿、子育て、社会などの進化を理解し易い様にした。上記「生物学」「生態学」同様のカードも使った。	上記「生物学」「生態学」と同様。	
授業科目 文化人類学 (非常勤先の愛知県立総合看護専門学校にて)		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
VTRを見せ、多数の例え話を出し、人間の文化の多様性と共通点、進化、我々が知らずに日本の文化に生まれ・関わっている点を伝え、文化を持つヒトとして、医療者として行動する際の教養を身に付けさせた。	※教科書指定 ※多数の書籍からの抜刷資料 ※音素を理解させるVTR ※文明と文字の関係を示すVTR	

3. 学会等および社会における主な活動

ダーウィンが来た 生き物新伝説 第155回 走れ! 跳べ! 世界最速モンキー	2009. 7 放映	NHK 総合テレビ、BS1 NHK 取材班 アフリカ・カメルーン北部のパタスモンキーの取材および編集への協力。
--	------------	---